

正 会 員 各 位

(一社) 全国LPガス協会

冬版「エネルギーを上手に使うためのポイント」パンフレット（節電・節ガス）の
斡旋について

日本ガス体エネルギー普及促進協議会より、節電やガスの省エネを切り口にしたエンド
ユーザー向けの啓発パンフレットをご案内申し上げます。

本年度は、昨年ご好評を頂きましたパンフレットの改訂版となります。

つきましては、ガス展等のイベントや各種営業機会でご活用いただきますようお願い申
し上げます。

記

1. パンフレットの概要

(1) 冊子の形態：A4判 8ページ、カラー、両観音折（前作からデザインを変更）

(2) 冊子の概要（詳細は添付1、添付2をご覧ください）

冬版「エネルギーを上手に使うためのポイント」

- ①暖房編・・・ガスファンヒーター・ガス温水式床暖房でかしこく節電
- ②調理編・・・Siセンサーコンロでおいしい節電クッキング
- ③入浴編・・・よく使う機器が省エネタイプになると節約効果も大
- ④発電編・・・エコウィル・エネファームでエネルギーを創る生活へ
- ⑤家電編・・・よく使うタイプの家電製品を省エネタイプへ
- ⑥その他・・・住まいの設備チェックシート

(3) 斡旋単価：30円/冊（税込・送料別）

※100部単位でのご注文となります。

※500部まで1梱包となります。

（送料の問い合わせは斡旋事務局までお問い合わせください）

2. お申し込み方法

添付3のお申込書に必要事項をご記入の上、以下のアドレスへメールでお申込みくだ
さい。

【受付メールアドレス： assen@u-com.co.jp】

3. お問い合わせ先

(株)アーバン・コミュニケーションズ内 事務局

TEL 03-5405-7065 (平日AM9:30~PM5:00)

4. 申込締切りおよび納品時期について

お申込み受付開始日からの最短納品日につきましては事務局（お問い合わせ先）までお問い合わせください。尚、それ以降の納品日に関してはお申込日から一週間前後となります。

最終お申込締切りは平成25年1月31日（木）受付分までとさせていただきます。

(発信手段: Eメール)
(担当: 事業推進部 開発・永田)

以上

平成24年9月21日

コラボ関係者殿

日本ガス体エネルギー普及促進協議会

冬版「エネルギーを上手に使うためのポイント」パンフレット（節電・節ガス）の斡旋について

拝啓 時下ますますご隆昌のこととお喜び申し上げます。

さて、全国の原子力発電所の多くが停止している状況下で、今冬も電力不足が懸念されております。

今回ご案内させていただきますパンフレットは、昨年ご案内させていただきました節電やガスの省エネを切り口にしたエンドユーザー向けの啓発パンフレットのデザインを変更した内容となっております。（昨年ご好評をいただきましたパンフレットの改訂版になります。）ガスファンヒーターやガス温水式床暖房等の暖房器具の営業にも通じる内容となっておりますのでガス展等のイベントや各種営業機会でご活用願います。

敬具

記

1. パンフレットの概要

(1) 冊子の形態：A4判 8ページ、カラー、両観音折（前作からデザインを変更）

(2) 冊子の概要（詳細は添付1、添付2をご覧ください）

冬版「エネルギーを上手に使うためのポイント」

- ①暖房編・・・ガスファンヒーター・ガス温水式床暖房でかしこく節電
- ②調理編・・・Siセンサーコンロでおいしい節電クッキング
- ③入浴編・・・よく使う機器が省エネタイプになると節約効果も大
- ④発電編・・・エコウィル・エネファームでエネルギーを創る生活へ
- ⑤家電編・・・よく使うタイプの家電製品を省エネタイプへ
- ⑥その他・・・住まいの設備チェックシート

(3) 斡旋単価：30円/冊（税込・送料別）

※100部単位でのご注文となります。

※500部まで1梱包となります。（送料の問い合わせは斡旋事務局までお問い合わせください）

2. お申し込み方法

添付3のお申込書に必要事項をご記入の上、以下のアドレスへメールでお申込みください。

【受付メールアドレス： assen@u-com.co.jp】9月24日（月）より受付開始となります。

3. お問い合わせ先

㈱アーバン・コミュニケーションズ内 事務局

TEL 03-5405-7065（平日AM9:30～PM5:00）

4. 申込締切りおよび納品時期について

お申込み受付開始日からの最短納品日につきましては事務局（お問い合わせ先）までお問い合わせください。尚、それ以降の納品日に関してはお申込日から一週間前後となります。

最終お申込締切りは平成25年1月31日（木）受付分までとさせていただきます。

以上

お申込書

節電は夏だけではない！
節電啓発ツールとして、営業ツールとして
今冬のツールとして是非ご活用ください。

添付3

冬版

冬版

昨年大好評！節電、節ガス啓発&営業ツール 「エネルギーを上手に使うためのポイント」パンフレット発行！

本パンフレットは、節電やガスの省エネを切り口にしたエンドユーザー向けの啓発パンフレットとなっております。冬版ではガスファンヒーター・ガス温水式床暖房の営業にも通じる内容を増強しました。是非、今冬のツールとしてお使い下さい。

主な内容

- ① 暖房編
ガスファンヒーター・ガス温水式床暖房でかしこく節電
- ② 調理編
Siセンサーコンロでおいしい節電クッキング
- ③ 入浴編
よく使う機器が省エネタイプになると節約効果も大
- ④ 発電編
エコウィル・エネファームでエネルギーを創る生活へ
- ⑤ 家電編
よく使うタイプの家電製品を省エネタイプへ
- ⑥ その他
住まいの設備チェックシート

価格：1部30円(税込・送料別)

※ご注文の際は100部単位でお願いいたします。

※500部まで1梱包



A4判/8ページ (表紙イメージ)

お申し込みはメールで assen@u-com.co.jp (9/24より受付開始)

御社名	数量 都市ガス版・LPガス版(いずれかに○) (100部× セット)= 部
ご担当者名	所属部署名
ご住所 〒	
お電話番号 ()	E-mail

お問い合わせ先

(株)アーバン・コミュニケーションズ内 事務局 / TEL 03(5405)7065

担当:佐川(さがわ)・布田(ぬのた)

暖房編

冬の節電は消費電力少しのガス暖房で

ガスファンヒーターをかきこく使って快適暖房、しっかり節電
消費電力はわずか約20W。ガスファンヒーターは、スイッチオンで5秒で快適温風。様々な安全機能で安全・安心！空気清浄機能付機種なら1台2役です。

- 立ち上がりの早いガスファンヒーターですばやくお部屋全体を暖房！その後はエアコンとの併用でかきこく節電可能です！
- お部屋の一部や体の一部を暖める電気ストーブ・電気こたつ・電気カーペットとお部屋全体をすばやく暖めるガスファンヒーターを上手に使い分けることで暖房家電の使用時間を短縮！かきこく節電可能です！

消費電力ゼロのガスストーブなら万一の停電時でも安心。ふく射熱でじっくり暖めます。

ガス柱は壁際に設置できます。詳しくは最寄りのガス事業者までお問い合わせください。

ガス温水床暖房なら節電しながら部屋じゅう快適
足元からやさしく暖めるガス温水床暖房の消費電力は約300W。ほど、消費電力の大きな電気式床暖房と比べて大幅節電。ガス代を入れても光熱費に大きな差が出ます。

床面の温度ムラが少ないガス温水床暖房
ガス温水床暖房は、床面温度が比較的均一に暖まるのに対して、電気式床暖房はヒーターパネルの間隔が暖まらず、温度ムラが生じるものがあります。

ご存知ですか？暖房機器にはそれぞれ特徴があります
お部屋全体を暖める……電気エアコン、ガスファンヒーター、床暖房
お部屋や体の一部を暖める……電気ストーブ、電気こたつ、電気カーペット

わが家の省エネ効果はどのくらい？
《住まいの設備チェックシート》

●いまお使いの設備を省エネタイプの機器に替えた場合の効果を見てみましょう。

チェックポイント	省エネ設備	設備を替えた場合の年間光熱費削減額	年間省エネ効果(節約額)
点灯時間が長い白熱電球の個数	LED電球	個数 × 1,400円/個・年	円/年
10年程度ご使用のエアコンの台数	省エネ型エアコン	台数 × 3,300円/台・年	円/年
節水型でないトイレの台数	省エネ型トイレ	台数 × 15,400円/台・年	円/年
エコジョーズでない給湯器の台数	エコジョーズ	台数 × ガス省エネ量 × ガス単価 × 49m ³ /年 × 円/m ³	円/年
ご自宅で行える省エネの効果は →			年間省エネ効果の合計 円

●省エネ行動を実施すれば、さらに省エネになります。

省エネ行動	省エネ行動による年間の光熱費削減額	年間省エネ効果(節約額)
ガスコンロで必要な分の火だけを炊く*	節電額 5,000円/年 ガス使用量 - 5m ³ /年 × 円/m ³	円/年
ガスコンロで必要なとき必要なお湯を沸かす**	節電額 7,700円/年 ガス使用量 - 9m ³ /年 × 円/m ³	円/年
お風呂のふたを閉める	ガス省エネ量 8m ³ /年 × 円/m ³	円/年
脱いで入浴する	ガス省エネ量 6m ³ /年 × 円/m ³	円/年

*ガスコンロのガス熱効率率は、日1回炊いた場合、沸騰ガス量で、ガスコンロのガス熱効率率は、日1回1、ずつ湯のしん量と、沸騰ガス量。

❖不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

※お問い合わせ先

ECO-FARM エコファーム

ダブル発電 は、ダブル効果です。

ワイズガス

エネルギーを上手に使うためのポイント



- 暖房編
- 調理編
- 入浴編
- 発電編
- 家電編

冬の電力使用の多くを占めるのは暖房機器です。



ご存知でしたか？冬に使う家電製品のうち、調理家電と並んで消費電力が高いのは暖房機器です。



複数の暖房機器を所有している人の割合は約75%もいます。ガスファンヒーター等の省電力の暖房機器を上手に使って暖房家電の使用時間を短くすることが、かきこく節電のポイントです。

調理編

ガスコンロでおいしい節電クッキング



電気炊飯器の代わりに
ガスコンロで必要な分
のご飯だけ炊く

ガスコンロによる炊飯はとっても省エネ。しかも保温せずにその部屋だけば、いつでもおいしいご飯を味わえます。

▶ 節電量 約 230kWh / 年 ▶ 節約額 5,000 円 / 年

自動炊飯機能付ならもっと便利に

自動炊飯機能が付いたガスコンロなら、炊飯キーを押すだけで、点火炊きのおいしいご飯が簡単に炊けます。



電気ポットの代わりに
ガスコンロで必要なとき
必要な量のお湯を沸かす

電気ポットでお湯を沸かして保温するよりも、使いたいときに必要な量だけガスコンロで沸かす方が省エネです。

▶ 節電量 約 350kWh / 年 ▶ 節約額 7,700 円 / 年



充実の安心機能でもしもの時も安心。
お手入れのしやすさも自慢です。
SIセンサーコンロ

安全に安心センサーを搭載。消し忘れや油温度上昇時は自動消火。

フラット天板で片手入れ簡単。ゴトクを外してリットとひと拭きでキレイ。

入浴編

少しの配慮でできるお風呂の省エネ



お風呂のふたを閉める

お湯を沸かす時と入浴後は、ふたをすると効率的にお湯を沸かすことができ、お湯も冷めにくくなります。

▶ ガス省エネ量 LPガス約8m³ / 年
▶ 節約額(円/年) = ガス省エネ量 × ガス単価



続けて入浴する

お風呂は家族の入浴時間に合わせて沸かし、冷めないうちになるべく家族が続けて入るようにすると、追いだきのためのエネルギーを節約できます。

▶ ガス省エネ量 LPガス約6m³ / 年
▶ 節約額(円/年) = ガス省エネ量 × ガス単価

よく使う機器が省エネ
タイプになると節約効果も大。



省エネタイプの
ガス給湯器に
切り替える

ecoWILL
▶ ガス省エネ量 LPガス約49m³ / 年
▶ 節約額(円/年) = ガス省エネ量 × ガス単価



他にもこんな省エネ機器があります。

発電編

エネルギーを使う生活から創る生活へ

ガスで給湯はもちろん発電もする
エネファームを導入する



ガスで発電するので、
発電所で作った電気の
使用量を約6割減らし、
光熱費も節約できます。

▶ 節電量 約 3,450kWh / 年
▶ 節約額 LPガス単価をにお問い合わせください。

太陽のエネルギーで発電する
太陽光発電を導入する



4kWの「太陽光発電」を設置した場合

▶ 節電量 4,000kWh / 年
▶ 節約額 約 35,000 円 / 年
▶ 売電額 約 100,000 円 / 年

省エネタイプの給湯設備と組み合わせるとさらに
省エネ効果が得られます。



家電編

よく使う家電製品を省エネタイプへ



照明を替える

住まいのあらゆる空間に欠かせない照明。1つひとつの消費電力はそれほど大きくなくても、使用個数が多いので節電効果は大です。

「白熱電球」を「LED電球」に切替える

▶ 節電量 94kWh / 個・年 ▶ 節約額 約 4,300 円 / 個・3年



エアコンを替える

家電製品の中で電力消費量ももっとも大きいのがエアコン。古い機種を省エネ性の高い最新の機種に替えるだけで、節電効果が期待できます。

2000年型を2010年型に切替える

▶ 節電量 約 150kWh / 年 ▶ 節約額 約 3,300 円 / 年



トイレを替える

家族一人ひとりが個別に使うトイレは、ご家族の人数によって使用する水の量が異なります。少ない水でもしっかり流すことができる節水型のトイレが増えていきます。さらに最新型のトイレは消費電力も小さくなっています。

トイレを「節水型トイレ」に切替える

▶ 節電量 154kWh / 年 ▶ 節約額 約 15,400 円 / 年 (節水代含む)

※1 節電量計算は省エネ率15%、消費電力100W、使用時間10時間/日、使用台数10台を前提とする。
※2 白熱電球：100W、LED電球：10Wの消費電力を前提とする。100W以上のLED電球はLED電球の消費電力とLED電球の消費電力の差を前提とする。
※3 省エネ率15%、消費電力100W、使用時間10時間/日、使用台数10台を前提とする。